

日本語学会2020年度秋季大会 (オンライン開催)について

日本語学会2020年度秋季大会は、オンラインで開催いたします。発表者も参加者も各自、インターネットに接続できる場所から参加することができます。

発表には、Zoomを使用します。Zoomのアカウントは、学会で取得したものを使用します。

ウェブ上に特設サイト(2020年度秋季大会ポータルサイト)を設け、各発表会場のZoomのURL・IDを掲載します。特設サイトには、事前参加申込者のみがアクセスできます(大会参加費あり)。

発表応募をお考えの方は、PC、ウェブカメラ、マイク、スピーカー、ネットワーク接続環境(ブロードバンド環境であることが必須です)をご用意ください。音声をクリアにするため、スピーカーとマイクは、PC付属のものでなく、ヘッドセットを使うことを推奨します。

オンライン大会時間割案

1日目(10月24日)

	口頭発表		ポスター発表		
	時間配分	A会場	B会場	時間配分	C会場
午前	10分	開場		10分	開場
	40分	A-1	B-1	30分	P-1
	5分	開場		30分	P-2
	40分	A-2	B-2	30分	P-3
	5分	開場		30分	P-4
	40分	A-3	B-3	30分	P-4
昼休み					
午後(前半)	10分	開場		10分	開場
	40分	A-4	B-4	30分	P-5
	5分	開場		30分	P-6
	40分	A-5	B-5	30分	P-7
	5分	開場		30分	P-8
	40分	A-6	B-6	30分	P-8
休憩					
午後(後半)	10分	開場		30分	P-9
	40分	A-7	B-7	30分	P-10
	5分	開場		30分	P-11
	40分	A-8	B-8	30分	P-12
	5分	開場		30分	P-12
	40分	A-9	B-9	30分	P-13

2日目(10月25日)

	ワークショップ・シンポジウム		ポスター発表		
	時間配分	A会場	B会場	時間配分	C会場
午前	10分	開場		10分	開場
	90分	WS0	W-1	30分	P-14
				30分	P-15
				30分	P-16
	10分	開場		30分	P-17
午後	90分	W-2	W-3	30分	P-18
				30分	P-18
				30分	P-19
昼休み					
午後	10分	開場			
	180分	シンポジウム			

本文書はこのポスターの形式で作成しました。

オンライン会場の運営体制を検討した結果、今大会ではパラレルで運営できる会場数を3会場までと考えています。

1日目は午前から研究発表を行い、ポスター発表の質疑応答を1会場で入れ替える形をとるなど、これまでの大会とは時間割が大きく異なります。

また、口頭発表・ポスター発表の時間割は、採択件数に応じて調整します。予定している発表時間から変更が生じる場合もありますこと、ご了承ください。

発表形態

口頭発表

【発表形態】 単独もしくは複数の発表者(筆頭発表者+共同発表者)が、1つの研究成果について、既定の時間内に口頭でのプレゼンテーションを行ったのち、聴衆との質疑応答を行う発表形態です。

【発表方法】 Zoomを使用し、本人によるリアルタイムの口頭でのプレゼンテーション・質疑応答を行います。発表者は、画面共有により資料掲示を行うことができます。音声資料の配信も可能です。画面共有による資料掲示、音声配信は、各発表者のPCから行うものとします。

【発表時間】 大会1日目に、1件につき40分(プレゼンテーション25分、質疑応答15分)の発表時間を設ける予定です。採択件数によっては、発表時間が短くなる(プレゼンテーション20分、質疑応答10分)場合があります。

【追加資料】 Zoomチャットによる資料配布は認めません。

【発表賞】 口頭発表は、**大会発表賞**の選考対象となります。

【その他】 オンライン大会では、口頭発表からポスター発表への発表形態の変更依頼は行いません。口頭発表で応募された発表は、口頭発表枠の採択可能な件数の範囲内で採択します。

ポスター発表

【発表形態】 単独もしくは複数の発表者(筆頭発表者+共同発表者)が、1つの研究成果について、ポスターを用いて発表を行い、聴衆と自由に議論を交わす発表形態です。

【発表方法】 オンライン大会のための特設サイトに、ポスター(掲示用PDF)を掲示した閲覧サイトを設置し、大会前日に公開します。参加者は、ポスターの閲覧およびダウンロードが可能です。大会当日は、1日目および2日目に、各発表30分程度の質疑応答の時間を設けます。質疑応答は、Zoomを使用し、本人によるリアルタイムの口頭での質疑応答を行います。発表者は、画面共有によりポスターを掲示します。画面共有によるポスター掲示は、各発表者のPCから行うものとします。

【ポスター】 PowerPoint(2013以降)のワイド画面サイズ(16:9/幅33.867cm×高さ19.05cm)のスライド1枚とします。発表者には、PDFファイルに変換した掲示用データをあらかじめご提出いただきます。

【追加資料】 Zoomチャットによる資料配布は認めません。

【発表賞】 ポスター発表は、**大会発表賞**の選考対象となります。

※今大会では、2020年度春季大会で行われる予定だったワークショップを実施予定のため、ワークショップの新規募集は行いません。

応募要領

応募資格

発表者は、応募時点で日本語学会の会員でなければなりません(新規入会者は、応募前に[入会手続き](#)を終えてください)。共同発表の場合は、筆頭発表者が日本語学会会員であれば応募できます。

応募件数

同一の応募者が同一の大会で筆頭発表者として応募できる件数は、口頭発表・ポスター発表・ワークショップのいずれか1件です。

応募方法

発表応募は、**発表応募・原稿投稿システム(7月上旬公開)**から行ってください。応募の際には、以下に示す応募用要旨(PDFファイル)をご用意ください。

応募用要旨(PDFファイル)

【口頭発表・ポスター発表共通】

- ・応募用要旨は、A4判用紙1ページ以内(図表、参考文献も含む)にまとめてください。1ページの字数に制限は設けませんが、読みやすさには配慮をしてください。
- ・応募用要旨には、以下の①～③を記載してください。

①**発表形態**(口頭発表もしくはポスター発表)

②**発表題目**(副題がある場合は「—」で前後を括る)

・「発表題目」は原則としてご応募時のままとします。審査後、大会企画運営委員会からの変更要請等がない限り、変更や改訂は認められません。

③**発表内容**

- ・研究の目的および研究方法、結論を明示し、それらを簡潔に記載してください。
- ・発表者が特定できるような情報は書かないようご注意ください。

発表申込を行うと、ウェブシステムから、自動配信の受領メールが届きます。自動配信の受領メールが届かない場合は、日本語学会大会ヘルプデスク jpling-desk ■■■bunken.co.jp(■■■を@に置き換えてください)にお問い合わせください。

二重発表の禁止

他の学会などで既に発表した、もしくは発表の申し込み中である内容、また、既に学術刊行物に掲載された、もしくは投稿中である論文と極めて類似する内容の発表応募を禁じます。